

まちを知る 議会を知る

みのかも 市議会 だより

2020.2.1

No.180

令和元年市議会第4回定例会

補正後総額210億4,270万5千円の
一般会計補正予算案などを可決

常任委員会委員で市内現地視察を実施

リバーポートパーク美濃加茂

主な内容

- ◆定例会の審議結果 …… 2・3P
- ◆委員会審査の概要 …… 4~6P
- ◆市政一般に対する質問と答弁
……………7~14P
- ◆議会日誌 ……14P
- ◆活動ピックアップ ……15P
- ◆お知らせ ……16P

令和元年

第4回

定例会

補正後総額210億4,270万5千円の一般会計補正予算案などを可決

市議会第4回定例会は、12月2日に開会し、12月19日までの会期18日間で開催しました。初日は、15議案を上程し、提案説明を行いました。そのうち人事案件2件については、質疑、採決まで行いました。

12月10日、11日は、14人の議員が一般質問を行いました。12月12日には、各議案に対する質疑を行ったほか、委員会付託を行いました。付託された各議案の審査のため、12月13日に文教民生常任委員会、16日に企画建設常任委員会を開催しました。

12月19日には、各議案に対する委員長報告の後、討論（反対）、採決を行いました。また、追加上程した選第4号については指名推選を行い、定例会を閉会しました。

クローズアップ

議案

議第69号 令和元年度美濃加茂市一般会計補正予算（第6号）

議案の概要

8,225万4千円の減額補正
補正内容の一部

現在お持ちの自動車に急発進防止装置を取り付けた場合、補助金の対象となりました。
(令和2年1月6日以降に設置の方が対象です。)

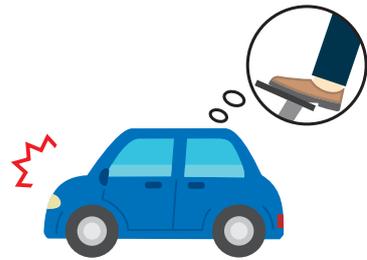
○急発進防止装置設置費補助金

補助対象者 次の①～③の要件を全て満たす個人の方です。

- ①市内に住民登録のある全ての方 ※補助金の交付は、**1人1回限り**です。
- ②非営利かつ自ら使用する目的で補助対象自動車に販売取付け業者から、急発進防止装置を購入設置した方
- ③自動車運転免許証（有効期限内）を保有している方

補助対象車 次の①～⑤の要件を全て満たす自動車です。

- ①申請者本人名義の車 ※リース車やレンタル車は対象外です。
- ②以前に急発進防止装置設置費補助金を交付されていない車
- ③急発進防止装置設置が可能な車
- ④交付を受けようとする年度内に、販売取付け業者から購入設置した車
- ⑤美濃加茂市内で主に使用する車



急発進防止装置とは？

自動車の停止時または徐行時において、アクセルペダルが急激に踏み込まれた際に急発進を抑制し、若しくはアクセルペダルとブレーキペダルが同時に踏み込まれた場合に、ブレーキ操作が優先される機能を持つ装置のことです。

補助額 補助対象経費に対して半額（1,000円未満は切り捨て） **※上限は2万円です。**

申込方法

- ・美濃加茂市防災安全課へ申請書類を提出してください。
- ・装置設置日から **2カ月以内**に申請書を提出してください。 ※年度をまたいだ申請はできません。

申請時に必要な書類

- ①急発進防止装置設置費補助金交付申請書兼請求書（指定様式）
- ②自動車検査証の写し
- ④急発進防止装置販売設置証明書（指定様式）
- ③販売取付け業者の領収書の写し
- ⑤自動車運転免許証の写し

定例会の審議結果

議案の審議結果

全会一致で可決された議案

議案番号	議案名	主な内容
議第66号	美濃加茂市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	令和元年の人事院勧告により一般職の国家公務員の給与改定及び給与制度の総合的見直しの実施の勧告をされたことから、この勧告に基づき、給料表の水準を引き上げる等の所要の改正を行うもの
議第67号	美濃加茂市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	令和元年の人事院勧告を受けた一般職の給与改定に準じて一般職の任期付職員の給料表の水準を引き上げる等の所要の改正を行うもの
議第68号	美濃加茂市国民健康保険条例及び美濃加茂市介護保険条例の一部を改正する条例について	保険料の仮算定を廃止し、本算定のみとすることに伴い、所要の改正を行うもの
議第69号	令和元年度美濃加茂市一般会計補正予算（第6号）	8,225万4千円の減額、予算総額は210億4,270万5千円 急発進防止装置設置費補助金（詳細は2ページ）、コンビニ交付サービス事業、古井小学校の教室の増設・空調設備の工事などによる増額補正及び文化会館の建築工事の入札が不調となり、今年度は予定していた工事が施工できなくなったことなどによる減額補正
議第70号	令和元年度美濃加茂市国民健康保険会計補正予算（第2号）	972万6千円の減額、予算総額は51億5,678万2千円 人事院勧告による給与改定及び人事異動等に伴う減額補正
議第71号	令和元年度美濃加茂市介護保険会計補正予算（第2号）	975万3千円の減額、予算総額は40億4,888万4千円 人事院勧告による給与改定及び人事異動等に伴う減額補正
議第72号	令和元年度美濃加茂市後期高齢者医療会計補正予算（第2号）	1,483万円の増額、予算総額は5億9,477万7千円 後期高齢者健康診査事業費の増額補正
議第73号	令和元年度美濃加茂市下水道事業会計補正予算（第2号）	（資本的支出）587万円の増額、予算総額は19億6,748万1千円 職員数の増加に伴う職員給与費の増額補正
議第74号	市道路線の廃止について	市道木野2号線の廃止
議第75号	市道路線の認定について	市道本郷694号線ほか4路線の認定
議第76号	岐阜県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岐阜県市町村職員退職手当組規約の変更に関する協議について	岐阜県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更に関する協議について、議決を求めるもの
議第77号	美濃加茂市教育委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の任命同意（鹿野久美子氏 再任）
議第78号	美濃加茂市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	任期満了に伴う後任委員の選任同意（小林喜典氏 新任）
選第4号	美濃加茂市選挙管理委員及び同補充員の選挙	任期満了に伴う後任委員及び補充員の選挙 委員及び補充員は下記のとおり

賛否の分かれた議案

議案番号	議案名 主な内容	議決結果	議員名															
			永田 徳男	田口 智子	坂井 文好	酒向 信幸	渡辺 孝男	牧田 秀憲	渡辺 義昌	村瀬 正樹	高井 厚	前田 孝	金井 文敏	柘植 宏一	片桐 美良	森 弓子	森 厚夫	山田 栄
議第64号	美濃加茂市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について 令和元年の人事院勧告を受けた国家公務員の一般職及び特別職の給与改定に準じて市議会議員の期末手当を引き上げるため条例を改正するもの	◎	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議第65号	美濃加茂市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 令和元年の人事院勧告を受けた国家公務員の一般職及び特別職の給与改定に準じて常勤の特別職職員の期末手当を引き上げるため条例を改正するもの	◎	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

美濃加茂市選挙管理委員・同補充員

任期：令和元年12月21日～令和5年12月20日

選挙管理委員：長尾 芳弘氏（太田地区）、藤井 秀男氏（古井地区）、馬淵 欣児氏（山之上地区）、大竹 士郎氏（蜂屋地区）

同補充員：福田 朝男氏（伊深地区）、柴田 克典氏（三和地区）、高井 清司氏（加茂野地区）、渡邊 宣民氏（下米田地区）

委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。
 ※《 》は議案名、◆は主な内容、()は補正金額。

文教民生常任委員会

《市国民健康保険条例及び市介護保険条例の一部を改正する条例》

固 仮算定を廃止して、本算定のみとし、保険料の普通徴収の納期を年12回から年9回とすることにより、1期当たりの支払い金額はどのくらい増えるのか。

罫 本市の令和元年度本算定時の平均国民健康保険料は、年間約16万700円であり、それをもとに1期当たりの保険料を計算すると、年12回で納付する場合は約1万3,400円、年9回で納付する場合は約1万7,800円となり、1期当たり約4,400円増えることになる。

固 国民健康保険料と介護保険料の普通徴収に係る保険料の納期を年9回とすることにより、滞納者も増加するのではないか。

罫 仮算定をなくしている自治体へ確認したところ、変更の影響により収納率が下がったということは聞いていないが、本市としても、しっかり周知をしていく。

固 納期が年12回から年9回となることによる経費の削減は。

罫 仮算定の際に、電算処理に係る経費が約100万円、また、納付通知が年1回となるため、郵便料、同封していたパンフレット、人件費などが約100万円であり、合計約200万円の経費を削減できると試算している。

《令和元年度市一般会計補正予算（第6号）》

固 時間外勤務手当の補正をするに当たっての補正額の算出方法は。

罫 時間外勤務手当の算出について、職員1時間当たりの時間外の平均単価を約2,500円で見込んでい

国民健康保険料と介護保険料の仮算定がなくなります

令和元年度まで

算定	仮算定			本算定								
	納付月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
期別	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	11期	12期

※4月（1期）から6月（3期）は前々年の所得に応じて仮に算定した保険料を納付していただき、本算定の7月（4期）以降に改めて前年の所得から年間保険料を算定し、4月から6月の仮納付額を差し引いた後、残りを9回に分けて納付していただいていた。

令和2年度から

算定	仮算定廃止			本算定								
	納付月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
期別	納付はありません			1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期

※仮算定を廃止し、前年の所得から年間保険料を7月に算定し、7月から3月までの9回に分けて納付していただくこととなります。

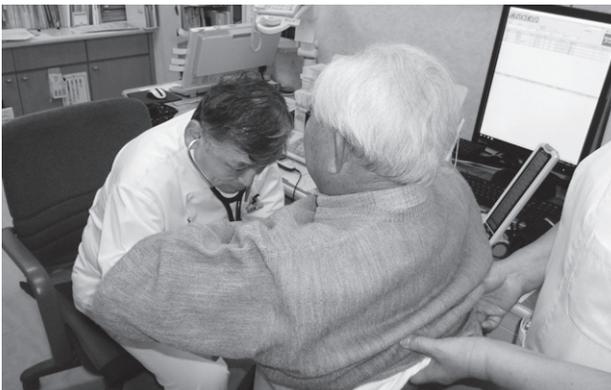
委員会審査の概要

る。例えば、児童福祉総務費では、保育料の無償化に伴う事務や保育園の今後の建設計画に要する事務など、こども課の事務量が増えており、その事務量と今までの実績を考慮して計上している。

◆後期高齢者医療会計繰出金（58万8千円）

問 健診の受診率向上により、今回補正となったが、直近の受診率の推移は。

答 この健診は、後期高齢者医療制度加入者の75歳以上の方を中心としたものである。平成30年度は、6,401人の対象のうち1,015人が受診し、受診率は15.9%であった。健診の対象者に対して、昨年度までは申込み制で行っていたが、今年度は対象者全員に受診券を配付したことにより、現在の時点で受診数が昨年度を上回り、1,432人の受診となっており、受診率は21.8%に上昇している。



おたっしゃ健診

◆生活保護システム改修（107万3千円）

問 生活保護システム改修の内容は。

答 主な改修は2点あり、1点目は、生活保護法の改正により、進学準備給付金制度が創設され、受給者の情報をマイナンバーの情報連携の対象とするためのシステム改修である。2点目は、令和3年1月から被保護者の健康管理支援事業を実施するに当たり、今年度から準備期間として、医療扶助について、レセプトを利用した調査分析等を行うためのシステム改修である。

◆新保健センター駐車場用地（1,157万3千円）

問 何台分の駐車スペースであるか。また、中部国際医療センターと共用できる駐車場はあるのか。

答 市の所有する土地への駐車可能台数は、現在54台を想定している。隣接する厚生会の所有地には、41台を想定しており、共用駐車場として合計95台分が確保できる方向で検討している。

◆継続費の補正：文化会館施設管理事業

問 トイレ改修の内容は。

答 ホール棟内のトイレは、トイレとホールの間には耐震壁や鉄骨の工事の影響があるため、改修が必要になったものである。基本的に、全体の大きさは変わらないが、現在、男子トイレも女子トイレも両側から通り抜けができる状況になっているものを、今回、入り口をそれぞれ1カ所ずつに変えるものである。男子トイレは、小便器を15台から7台に減らし、大便器は4台のままとし、女子トイレは、大便器を10台から16台に増やし、子ども用の便器を女子トイレの中に1カ所設置する予定である。

《令和元年度市後期高齢者医療会計補正予算（第2号）》

問 後期高齢者健康診査事業について、健診の内容は。

答 生活習慣病を対象とした健診の内容になっており、身長、体重、血圧測定、血液検査、尿検査等である。

企画建設常任委員会

《市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例》

問 施行期日は何に基づくのか。

答 人事院勧告に基づくもので、考え方は全国一律である。

《令和元年度市一般会計補正予算（第6号）》

◆コンビニ交付サービス事業（3,482万9千円）

問 コンビニ交付サービス事業の増額理由は。

答 各種証明書が発行できるようにするためにJ-LIS*（ジェイリス）のコンビニ交付システムと接続するシステム構築の経費、玄関ロビーに設置するキオスク端末及びシステムが正常に作動しているかを監視するためのパソコンの購入費が主なものである。

*J-LIS：地方公共団体情報システム機構

問 コンビニにおいて、改ざん防止用紙の使用誤りが起こらないか。

答 全国的にも普及が進んでおり、現在までに用紙の誤りの事例はなく、コンビニ運営者によってしっかり教育がされていると認識している。

委員会審査の概要



問 コンビニのキオスク端末の廃棄処理を行う場合に、情報漏えい等の問題は生じないか。

答 店舗にある端末にはその都度データが送られ、端末にはデータは残らないため、安全である。

問 個人情報漏えいしないようシステム構築及び管理の委託先への周知をしているか。

答 委託業者とは、契約で守秘義務及びデータの厳重な管理を規定している。コンビニ交付システムを管理しているJ-LISという団体においてもしっかり管理されると認識している。

◆急発進防止装置設置費補助金：2ページ参照

問 広報紙などで周知する際、対象車種を明示するのか。

答 明示する予定はなく、自動車販売店及び自動車用品店でご確認いただきたい。

◆畜舎防疫設備整備事業補助金（41万7千円）

問 畜舎防疫設備整備事業補助金の内容は。

答 養鶏場の消毒の際、環境に配慮し、通常の消毒薬ではなく、電気を使って作った酸性の水で消毒をする設備導入に対する補助金である。

《市道路線の廃止》

問 廃止理由は。

答 既存の市道木野2号線で施工しているスカイロード2号線が、このたび開通したため、路線が重複して認定されていた旧市道部分を廃止するものである。



スカイロード2号線

議案や条例案の概要は、下記からご覧になることができます。

■美濃加茂市議会 ホームページ
<http://gikai.city.minokamo.gifu.jp>



■閲覧方法

▶ トップページ ▶ 「本会議と審議の結果」

▶ 「令和元年 第4回定例会」

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいた主なご意見を掲載します。

- ・市議会を傍聴させていただきありがとうございました。市政について大変勉強になりました。ぜひ皆さんも傍聴に参加してみてください。行政に関心を持ちましょう。
- ・一般質問には、やはり防災・医療問題が提出され議論される。市民の生命に関する大切な事柄には、傍聴にとっても関心が強いからでしょう。また大きな問題としては、やはりまちづくりの諸課題については、年中話し合われても決して無駄ではなく、市が発展し続けるためには、いつまでも必要なことだと実感しました。
- ・市民も今一番関心を持っているのは、新庁舎建設計画と災害に強いまちづくりであると思われまます。新庁舎に関しては、広い1カ所での駐車場確保ができる場所に建設していただきたい。災害については、防災センター設置などを検討していただきたい。
- ・今回も市の取り組み、また問題点を知ることができました。「食品ロス」も一人一人が気をつけていけばいいということもわかりました。病児保育事業も大変難しいことがあると思いますが、働くお母さん、子どもたちのためにより一層考えて欲しいと思いました。市民として住みやすい美濃加茂を望みます。
- ・初めて傍聴しました。今日聞いた市の事業についてほとんど知らなかったのですが、毎日忙しく働いている市民が自ら足を運んで聞きに来たり、仕事の中に中継を見ることは難しいので、もっと手軽に知ることができるかと思いました。

市政一般に対する質問と答弁

14人の議員が登場し、市政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



牧田秀憲議長

■美濃加茂市議会 議会中継 <https://smart.discussvision.net/smart/minokamo/>

美濃加茂市議会 議会中継



議会中継

■視聴方法

▶ トップページ ▶

▶ 会議名から選ぶ ▶

▶ 令和元年第4回定例会 ▶

▶ 12月10日または11日 一般質問 ▶

■会議録検索システム <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/minokamo/SpTop.html>



森 弓子 議員

サテライト地域の充実

問 まちづくり課と連絡所とまちづくり協議会の連携は。また、随時要望の地域解決を。

答 より一層、地域の課題解決に対する取り組みを共有し、協働によるまちづくりを推進するためにも、マンパワーが必要となるので、連絡所業務の見直しと合わせて、職員の増員も検討していく。また、連絡所長の裁量で対応できる予算があることは、要望内容によっては、専門性や計画性を必要とすることもあるため、地域性を生かした基準づくりが肝要となるが、検討していきたい。

問 サテライトの下米田地域の整備計画の策定及び下米田保育園の用地の確保は。

答 来年度、交流センターをどのように整備していくかを検討する予定であるため、下米田地域においては、将来のまちづくりビジョンなど、地域の方々との協議を進めたい。

下米田保育園については、公共施設の複合化、財

政面を考慮しつつ、用地選定など総合的に、来年度には動きをみせていきたい。

問 移住に補助金を。あるいは移住の場合の中古住宅の改修費に新たな補助制度を。

答 補助金については、移住者に対して補助するのではなく、例えば、まちづくり協議会や自治会などに対して、地域の方々が地域の課題として、移住者が地域に溶け

込みやすい環境づくりや、地域の魅力を発信されるなどの活動を支援したいと考えている。



情報発信

問 市報、ケーブルテレビの放送、FMららの放送を、より良くしていくために市民意見を聴取するというモニター制度が必要なのでは。

答 メディアを活用した情報発信は必要であり、市民の皆さんのご意見をお伺いする機会は設けていかなければならないと考える。



渡辺義昌 議員

救急医療体制

問 可茂消防事務組合管内における住民からの救急車要請に対する現状と課題について伺う。

管内の救急要請の件数と内容は。

答 可児加茂管内における平成30年の救急搬送件数は8,512件で、前年に比べ524件の増加となっている。1日平均23回以上搬送したことになる。

問 利用者の年齢層は。

答 65歳以上の高齢者が5,125人で、全体の60.2%と最も多い。次いで18歳以上65歳未満の成人が30.4%、7歳未満の新生児及び乳幼児が5.2%、7歳以上18歳未満の少年が4.2%となっている。

問 65歳以上高齢者の救急搬送の現状と課題は。

答 高齢者の救急搬送数は増加している。そのことにより、管内救急医療機関の受入れ許容量が限界を超え、管外の救急医療機関へ搬送しなければならない状況が課題となっている。

問 管内における救急病院はどのくらいあるか。

答 管内の救急告示医療機関は、7病院1診療所の登録がある。木沢記念病院、太田病院、可児とうのう病院、東可児病院、藤掛病院、桃井病院、白川病院の7病院と、伊佐治医院である。

問 救急搬送の受入れ態勢は。

答 救急隊が救急医療機関に受入れ要請を行って1回で受入れを承諾してもらえる場合ばかりではなく、断られるケースが増えてきている。

平成30年に1回以上受入れ要請を断られた件数は、722件で全体の8%を占めているが、令和元年上半期の割合は、513件で約11%と前年より多くなっている。

問 電話相談窓口の概要は。

答 こども医療電話相談#8000は、休日や夜間に子どもの急な病気やけがについて、家庭での対処方法や医療機関を受診すべきかどうかを電話で専門の相談員に相談することができる。

この事業は全国同一の短縮番号#8000をプッシュすることにより、お住いの都道府県の相談窓口に自動転送される。



片桐美良 議員

新庁舎

美濃太田駅周辺とした場合

問 庁舎南の市民が集える広場の規模は。

答 限られた市有地の中で考えれば、あまり大きな面積を確保することができない。

問 駅南の東西のエリアに一体感をもたせるため、駅前交差点までを公共空間にする構想は。

答 公共空間のあり方として既存の道路形態にとらわれず検討をしていく必要があると考えている。

問 危機管理棟は他の場所に計画すべきと考えるが、可茂消防本部と市の防災拠点と併設できるような施設規模や建設場所の調査・研究をすべきでは。

答 事務を行うための庁舎とは別に、防災拠点の建設が可能かどうかについて、調査・研究が必要であると考えている。

前平の畜産研究所跡地とした場合

問 駐車場（507台）を含め敷地必要面積は。

答 仮に3階建て庁舎とした場合、18,000㎡～19,000㎡程度は必要となる。

問 平地造成に係る金額、面積は。

答 標高95mに造成した場合、有効面積は約12,000㎡で、概算工事費は約5億6,000万円であり、標高90mに造成した場合では、有効面積は約19,000㎡で、概算工事費は約14億5,000万円になる。その他、両ケースともに、杭（パイル）工事や調整池から下流排水路に関する工事、市道西町作り洞線の交差点改良工事などが必要となり、更に数億円の工事費が必要となる。

問 盛り土部分の擁壁ブロックは、いかほどの豪雨、地震に耐えられるか。

答 標高95mで造成した場合、造成地南側の擁壁が最大5m、北側の擁壁が2.5mとなり、標高90mで造成した場合、造成地南側の擁壁が最大で5.7m、北側の擁壁が7.5mとなる。これらの擁壁は、県の宅地開発基準に定められている設計となっている。

問 研究所跡地立ち入り禁止解除の見込みは。

答 現在も立ち入り制限はかかっているが、県畜産研究所養豚研究部に申し出をすれば、敷地内への立ち入り許可をいただける可能性はあると伺っている。

市政一般に対する質問と答弁



山田 栄 議員

防災

問 水害時の避難方法は。

答 市としては第一に自らの命を守るため、安全で安心できる場所や地域へ出来るだけ早い時間帯に安全に避難していただきたい。

防災行政無線、防災ラジオ、すぐメールなどの避難勧告情報は早期の避難を促すものであり、開設した避難所のみへ避難を勧めるものではない。

移動について車は危険性が高まるため、原則徒歩での避難となる。高齢者・障がい者においては、危険がせまる前に安全な場所に安全な手段で避難していただきたい。災害の危険性がある地域にお住まいの方は、日頃から十分な防災の備えをしていただきたい。

問 加茂川排水機場の排水ポンプ、木曽川堤防の美濃加茂市公共下水道雨水ポンプ場建屋への遮水扉や防護壁の設置、電気系統の設置位置の改良の考えは。

答 市の管理する雨水排水施設は、雨水ポンプ場7カ所、ゲート機場2カ所と国土交通省から委託を受け、管理している加茂川排水機場があり、これらの施設への浸水による影響は、木曽川、加茂川、飛騨川などの浸水想定規模により大きく異なるが、どの施設も浸水の危険性の高い位置に設置されている。

市の公共下水道雨水ポンプ場施設では、計画規模の浸水想定であっても、施設の位置や構造などの点から、新たに実施することは難しいと考えており、浸水に対してはしっかりと注意していく。また、加茂川排水機場については国の計画基準に基づいて整備されている。

問 災害発生時のボランティア活動への対応策は。

答 災害が発生した場合には、市の社協が災害ボランティアセンターを立ち上げ、募集から被災者のニーズの把握と、そのニーズへの対応までの運営全般を行う。市は災害ボランティアセンターの運営支援のため、本年5月に社協との間で災害ボランティアセンターの設置及び運営等に関して協定を締結し、その後、災害ボランティアセンター運営マニュアルを整備した。



渡辺孝男 議員

先進安全自動車購入補助金

問 高齢者の事故防止として、先進安全自動車装置の付いた新車購入時の補助制度の利用状況は。また、今回既存の車に設置時も補助対象として上程されているが、どのようにPRするのか。

答 1件2万円の補助で、平成29年度は、139件で278万円、平成30年度は、183件で366万円、今年度11月末現在では、108件で216万円の補助を執行している。また、今回上程している補助金のPRは、市内の自動車販売店、装置を販売・設置する店舗や、加茂警察署、中濃運転者講習センターでお知らせするほか、広報やホームページでの掲載を考えている。幅広くこの制度を活用していただき、アクセルとブレーキペダル踏み間違えによる悲惨な事故の発生防止に取り組んでいきたい。

水泳授業の民間プール利用

問 今年度、山之上小学校の水泳授業を民間プール

で実施したが、教育委員会の評価及び子ども達の意見、感想は。また、今後の進め方は。

答 教育委員会としての評価は、天候に左右されず予定どおりの授業が実施できたこと、インストラクターによる技術的な指導を受けることにより、多くの児童の泳力が向上したこと、教職員の施設管理等に費やす労力が減少したことから、効果があったと評価している。また、児童たちにアンケートを実施したところ、学年に関わらず、「とてもよかった」「よかった」と回答した割合が8割を超えたことから、今後の進め方としては、水泳授業の民間プール活用を広げていきたいと考えており、プール施設の大規模な修繕が必要な学校を優先に、耐用年数と修繕計画、更新に係る経費などコスト面を見通した上で、学校や保護者の方々に十分説明し、ご理解をいただきながら進めていきたい。



民間プールを活用した水泳授業



前田 孝 議員

安心安全で災害に強いまちづくり

問 森山浄水場の浸水対策は。

答 岐阜県発表の木曾川・飛騨川の水害危険情報図によれば、森山浄水場付近における計画規模レベルの浸水の深さは、木曾川の想定では浸水せず、飛騨川の想定では50cm未満となっている。よって、浄水場の状況を考慮すると浸水の可能性は低いと判断している。

問 市内河川で集中豪雨発生時の場合、バックウォーター現象など発生する可能性は。

答 木曾川の水位が上昇した場合、加茂川排水機場や排水路はゲートを閉め、ポンプを稼働して強制的に排水を行うため、ゲートを閉めた時点でバックウォーター現象が発生する可能性はないと考える。ただし、ポンプでの排水能力を超える降雨による内水氾濫や、木曾川水系の集中豪雨に伴う水位上昇による越水の浸水被害の可能性はある。



森 厚夫 議員

新庁舎建設

問 美濃加茂市新庁舎整備基本構想（概要版）に記載の「解決すべき5つの課題」について伺う。

古くて使いにくく、大きな地震に耐えられないとは。

答 昭和36年に建築した現庁舎は、すでに58年が経過しており、躯体に複数のクラック（亀裂）が発生したり、設備の老朽化による機能低下や不具合も発生している。

問 狭くて、利用者も職員も困っているとは。

答 現庁舎は、待合いスペースが確保されておらずプライバシーに配慮した相談コーナーも確保できていない。また、執務スペースとしても、全体的に手狭で、打ち合わせスペースや休憩スペースが確保されていないのが現状である。

問 災害が起きた時に頼れる場所になれないとは。

答 現庁舎は、平成15年に耐震補強工事を施しているものの、躯体の損傷や設備機器類の老朽化が

新庁舎建設

問 未来のまちづくり委員会の最終答申はいつ出るのか。

答 年内には最終答申をいただくよう進めている。

問 第1回目の8地区での説明会のフィードバックはどのようにするのか。

答 市長と語る会で出された意見は、ホームページに全会場の意見と市長が答えた内容を掲載した。また、「新庁舎整備基本計画かわらばんvol.6」で意見概要を取りまとめフィードバックをしている。

問 第2回目の4候補地についての説明会の予定は。

答 2回目の市長と語る会は、議員との意見交換をした上で、開催したいと考えている。

問 新庁舎場所決定に当たり、市民の意向調査をするべきとの意見に対しての見解は。

答 建設場所については、市民ワークショップやアンケート調査などご意見をいただき4候補地に絞り込んできた。その後、未来のまちづくり委員会の中間答申へとつながってきている。そのため、改めて意向調査を行うことは予定していないが、次回の市長と語る会において市民の皆様丁寧に丁寧な説明をしていく。

激しく、大規模地震発生時に、それらの破損により災害対策の中核拠点として役割が果たせない恐れがある。

問 親しみやすさがないとは。

答 バリアフリー法に基づく基準を満たさない項目が複数あり、ユニバーサルデザインの庁舎となっていない状況である。また、トイレの整備環境も良好でなく、キッズスペース等の確保もなされていないのが実情である。

問 まちづくりを考えた建物になっていないとは。

答 現庁舎は、駅や国道が整備された交通の要衝で官公署が集積するエリアに建てられている一方で、まちづくりに強く結びつく庁舎の機能を備えていない。

岐阜県の主な地震災害履歴

1891年	濃尾地震M8.0	美濃：死者4,990人
1909年	姉川地震M6.6	岐阜市西部：死者6人
1944年	東南海地震M8.0	西南濃：死者13人
1946年	南海地震M8.1	西南濃：死者14人
1961年	北美濃地震M7.0	県内：死者2人
1969年	岐阜県中部地震M6.6	県内：死者1人

市政一般に対する質問と答弁



村瀬正樹 議員

新庁舎整備基本計画

問 パブリックコメントで意見を募ることは、実施内容を見たり意見を届ける点で、主にインターネットの使用等限定的であり、多くの市民の声を聞くことが難しいと思われる。

それに比べ、住民意向調査は、無作為抽出で多くの市民に調査用紙が届けられ、返事も郵送等であるため、多くの住民の意向を調査することができる。

法的には、市議会の場において、議員の議決で候補地等が決まる。しかしながら、市民の税金を投入し、市民が永く使う市役所である。

それまでの過程の一つとして、より多くの市民の声をとり上げる住民意向調査の実施を求めているが、いかがか。

答 住民意向調査は、今のところ想定していない。市民に逐次情報を公開し、議員にも資料を提示し、丁寧な説明をしながら議論を深めていきたい。

仮に、毎年実施している市民満足度調査の中で新庁舎に関する項目を追加する場合でも、設問内容を慎重に検討しなければならないと考える。

市民の代表である市議会議員と議論を深め、市議会議員による議決で最終的な判断をいただくことになると思う。

問 市議会議員が、地元や市全体の多くの市民の意向を調査したり、その傾向をまとめることはなかなかできない。そうした意味からも、住民意向調査は必要と考えるが。

答 今後、市民の皆様にも再度説明に伺うまでに、議員の皆様と十分議論を深めてから伺うべきであるという意味で捉えていただきたいが、やはり最終的な決定は市議会の場であると考えている。

問 先日の8地区での説明会の参加者も500人位と少なかった。また、4候補地に絞り込むときに実施した市民ワークショップやアンケートのときは、現在の状況も今後の状況も異なっている。以上の理由で、住民意向調査の実施を再度問う。

答 市民の皆様にも、様々な資料を提示させていただき、次回の意見交換会に多くご参加いただき、ご意見をいただけるような形にしていきたいと考えている。



酒向信幸 議員

食品ロス

問 宴会時には多くの食べ残しが出ている。本市が取り組んでいる乾杯後30分間、お開き10分前は自分の席で楽しむ「3010運動」の定着がされ、効果は出ているのか。

答 食品ロス削減の取り組みの1つである3010運動を推進するため、平成28年度に啓発グッズとして「三角柱」と「ミニのぼり旗」を作成し、協力いただける店舗や企業などに配布した。グッズを配布した11の店舗などに効果を確認したところ、「感覚的には少しあったが、まだまだ実感できるほどではない」というような状況を聞いている。

今後も引き続き、3010運動の協力を事業者に対して呼び掛けていくほか、全国の事例を参考に、新たな啓発にも取り組んでいきたいと考えている。

姉妹都市ダボ・リージョン*

*リージョン：行政区

問 姉妹都市提携30周年を記念して今後一層緊密な交流・協力関係を推進・強化することを宣言した。教育・若者交流、観光交流、健康の3つの分野において今後、具体的に推進・強化する内容は。

答 3つの分野ともに、本市が今後進めるべき重要な分野であると認識しているが、今回のオーストラリア訪問に際して、様々な施設を視察し、特に健康分野においては、先進的な取り組みや状況等の説明を受け、健康施策においても、今後、大いに学ぶべきものがあると感銘を受けた。

3つの分野について、今後、推進・強化する具体的な内容等は、今回の視察等を参考にし、また、関係機関からの意見や支援を受けながら、両市において、さらに協議を行っていく。



ダボの美濃加茂ウェイ（美濃加茂への道）



田口智子 議員

病児保育の対応

問 本市が行っている病児保育事業の内容は。

答 平成17年から病後児保育、平成21年から病児保育を実施している。保育園等に通園している子どもが風邪やその他の疾病にかかり、回復期に至らないが急変が認められない場合、専門の病児保育室で体調に合わせた保育を行っている。対象は市内在住で保育園を利用している乳幼児から小学6年生までの児童で事前登録が必要である。

問 保育所における体調不良児対応型についての考えは。

答 現在、在園中に発熱や怪我等をした場合、基本的には保護者に連絡し、迎えに来てもらう対応をしている。国の定める体調不良児対応型は保育園等の医務室において実施し、看護師1名以上を配置することとされていることから、スペース、人力的な面からも現時点での対応は困難であると考えが、保護者のニーズ等を把握しながら検討していきたい。

問 中部国際医療センター敷地内に設置予定の「子育て世代包括支援センター」や仮称「新古井保育園」内に病児保育事業の対応予定は。

答 子育て世代包括支援センターは、令和4年1月に移転予定の保健センター内に設置する計画だが、病児保育を実施することは考えていない。現在、木沢記念病院内において実施している病児・病後児保育園「プーさんの部屋」について、中部国際医療センター開設後に移転されるかは具体的に協議にまでは至っていない。今後、関係機関と協議していきたい。

また、令和4年4月に開園予定の（仮称）新古井保育園については、施設内に医務室を整備する計画であることから、体調不良児保育の実施等、保護者のニーズに応えられるような形で検討していきたい。



病児保育の様子



金井文敏 議員

平時の防災減災の取り組み

問 受援体制構築の取り組みは。

答 詳細な役割や体制を記した単独の「受援計画」は策定できていない。本市も広域的な受援を必要とする大規模災害に見舞われることを想定し、受援計画策定に早急に取り組むたいと考えている。

問 地区防災計画の策定は。

答 地区防災計画は、市町村内の一定の地区の居住者が行う、自発的な防災活動に関する計画である。共助の主体となる自治会や、自主防災組織に対してご協力をいただきたいと考えており、PRパンフの配布や出前講座を実施し、地区防災計画の作成意識を高めていきたい。

問 ローリングストック*及び市役所ロビーに防災用品を展示することの考えは。

答 普段使用する食材を3日間程度余分に買いだめし、消費期限を過ぎないように消費していくことも手軽な防災対応と考える。そのような取り組み例を

分かりやすく周知していく。市役所ロビーの展示・紹介については、常設又は期間限定とするか、スペースの確保などを考慮し検討したい。



*ローリングストック：普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法

保育施設周辺にキッズゾーン*の整備

問 整備に関する考えは。

答 園児の安全を最大限確保するため、今後も道路管理者、警察、当該保育園等と協議の上、ソフト・ハード両面から有効的な方法を検討し、整備を進めていく。

*キッズゾーンは、主に小学校周辺に設定された既存の「スクールゾーン」に準じる安全対策の重点地域。保育施設を中心に、原則半径500メートル以内を対象範囲とし、園児の散歩コースなどを踏まえ、自治体が保育施設、道路管理者、警察などと協議して設定する。



坂井文好 議員

持続可能な農業

問 環境保全型農業・有機農業の推進は。

答 近年は地球温暖化が叫ばれ、頻発する異常気象の大きな要因とも言われている。防災インフラとして山林や農地の有効活用が見直され、農業分野においても化学肥料の使用を抑え、堆肥等を活用するなど、地球温暖化の要因の一つとされる「大気中へのCO₂の排出量を削減」するといった環境にやさしい農業が求められている。国も、そういった取り組みを行う農業者の団体等に対し、「環境保全型農業直接支払交付金」を創設した。本年11月に、市内で初めての集落営農法人「農事組合法人みわはたる」が三和町川浦地区に設立された。本市としても、「蛸の里と共存する農業」として付加価値を高め、農業所得の向上が実現できるよう全力で支援していきたい。

里山千年計画

問 里山を維持管理する仕組みづくりは。

答 仕組みづくりは、山之上・蜂屋・伊深地区において、里山の整備をはじめ、薪づくりや森のようちえん等、積極的に里山での活動を行う多くの団体が出てきた。また、里山整備講座では、里山の維持管理に必要な人材育成を図り、5年間で延べ約150人が受講された。昨年度からは中部電力、今年度からは豊田合成等、大手企業の活動へと広がっており、今後さらに活動の輪を拡大していくよう積極的な働きかけをしていく。

今年度から国の森林環境譲与税を活用して、樹種の調査や所有者の意向調査等を行い、その後は国の直接交付金による「広葉樹による林業経営」など様々な手法を組み合わせ、地域や企業と一体となり、「持続可能な里山の整備」を行っていききたい。



企業と地域の協働による里山整備

議 会 日 誌 (主なもの)

11月	9日	中農法人会要望受領
1日 議会運営委員会	12日 議会改革特別委員会	美濃太田駅南地区街づくり協議会要望受領
3日 市功労者表彰式	15日 中部国際医療センター新築工事 起工式式典	19日 議会運営委員会
5日 地方自治連絡協議会	21日 市体育協会 懇親会	25日 議会だより編集委員会
美濃加茂市・富加町中学校組合議会 定例会 (富加町)	28日 消防団年末夜警巡視	1月
8日 新庁舎建設特別委員会、全員協議会	5日 消防出初式、新春消防友の会	5日 市職員仕事始め式
9日 美濃加茂高等学校マーチングバンド・バトントワリング演技演奏会	6日 議会だより編集委員会	10日 堂上蜂屋柿茶会、みのかも成人式
FMららラジオ番組出演 (みのかも市民まつり会場)	12日 美濃加茂商工会議所創立記念 新春賀詞交歓会	15日 国保事業推進トップセミナー・岐阜県市町村国民健康保険運営協議会会長連絡協議会 (岐阜市)
10日 一般財団法人岐阜県身体障害者福祉協会 中濃ブロックゴルフ大会	16日 議会だより編集委員会	17日 加茂防衛協会美濃加茂支部役員及び女性部 新年互礼会
11日 中濃十市議会議長会主催 議員研修会 (可児市)	17日 県加茂防衛協会 新年会	22日 市健寿連合会 新年互礼会
14日 全国市議会議長会 社会文教委員会 (東京都)	23日 議会改革特別委員会 行政視察 (～24日)	24日 可茂地域町村行政懇話会・行政懇談会
15日 市未来のまちづくり委員会	24日 東海環状自動車道付加車線設置事業 起工式 (可児市)	25日 美濃加茂青年会議所 新年式典及び新年会
17日 朗読フェスティバル	28日 全国市議会議長会 社会文教委員会 (東京都)	28日 堂上蜂屋柿振興会品評会
20日 可茂地域市町村議会議長会主催 議員研修会 (可児市)	30日 議会運営委員会	31日 文教民生常任委員会 市内視察 (学校給食センター)
21日 姉妹都市提携30周年記念 ダボ訪問 (～26日) (オーストラリア)		
23日 PTA研究発表&子どもをたくましく育てるつどい		
24日 東白川村立村130周年記念式典 (東白川村)		
28日 議会運営委員会、市都市計画審議会		
29日 市議会議員OB会総会		
12月		
1日 民生委員・児童委員及び主任児童委員退任式		
民生委員・児童委員委嘱状及び辞令書交付伝達式並びに主任児童委員指名状及び辞令書交付伝達式		
2日 市議会第4回定例会 (～19日)		
議会だより編集委員会		
7日 市戦没者追悼式		



新たな常任委員会委員で現地視察を行いました

10月21日から文教民生常任委員会、企画建設常任委員会が新たな委員構成となったことに伴い、各委員会が所管事務に関する現地視察を行いました。

文教民生常任委員会 (10月25日)

■ (仮称) 新古井保育園



建設用地の視察

■ (仮称) 新蜂屋保育園



建設用地の視察

■ のぞみ教室



外国人児童生徒への初期適応指導の状況の視察

■ あい愛バス



試験運行の状況の視察 (乗車)

企画建設常任委員会 (10月28日)

■ 加圧式給水車



断水対策の状況の視察

■ 防犯カメラの設置状況



蜂屋消防車庫前の設置状況の視察

■ 金谷急傾斜地



被災状況及び対策工事の視察

■ 健康の森



改修工事の概要の視察

本会議の様子は、議会中継で



市議会本会議の様子をインターネットで配信しています。議会の開催日にはライブ中継も行っています。パソコン、スマートフォンやタブレット端末でぜひご視聴ください。



議会中継

美濃加茂市議会 議会中継 アドレス

<https://smart.discussvision.net/smart/minokamo/>

美濃加茂市議会 議会中継



～今号の表紙～

今号の表紙は、リバーポートパーク美濃加茂です。ここでは、夏はもちろんですが、冬も楽しみいただけます。

また、昨年12月に、国土交通省所管の「かわまち大賞」を受賞しました。



編集後記

議会だより編集委員は、10月より新たなメンバーでスタートしました。今後も力を合わせ、活動の輪を広げ、皆様に愛される議会だより発行に努めてまいります。

来年度から、第6次総合計画がスタートします。6つの基本計画を主軸に多くの事業が計画されています。健康をキーワードに、美濃加茂市の未来に向かっての舵取り第一歩を踏み出す重要な年になります。

「孫子の代まで住み続けられるまち」を今後も提唱し、「夢と誇りある美濃加茂 堂々、美濃加茂。」に向け、「議会だより」を有効に活用し情報発信を進めてまいりますので、皆様のご協力よろしくお願いたします。

渡辺 孝男

次の定例会の予定

令和2年第1回定例会

- 2月26日(水) 初日
- 3月9日(月) 一般質問
- 10日(火) 一般質問
- 11日(水) 一般質問
- 12日(木) 質疑
- 24日(火) 最終日

場所：市役所本庁舎3階 議場

時間：午前9時から(最終日は委員会終了後)

※日程は都合により変更となる場合があります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

今号から新たな編集委員が編集を行いました。

議会だより編集委員

- (中央左) 委員長：渡辺 孝男
- (中央右) 副委員長：永田 徳男
- (左から) 高井 厚 森 弓子 田口 智子 片桐 美良



第4回定例会の議場装花



議場に飾られている花は、加茂農林高校園芸流通科2年生の生徒さんに作っていただきました。

次回の議会だよりは、令和2年5月1日を予定しています。ご意見ご感想は、市議会ホームページ(ご意見アンケート)、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。

